



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月31日

上場会社名 株式会社セリア 上場取引所 東  
 コード番号 2782 URL <http://www.seria-group.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 映治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 河合 規雄 TEL (0584) 89-8858  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	48,642	11.1	5,078	28.2	5,129	28.8	3,486	30.4
2020年3月期第1四半期	43,781	4.5	3,962	△2.2	3,982	△1.9	2,672	△1.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	45.96	—
2020年3月期第1四半期	35.24	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	101,777	76,240	74.9	1,005.28
2020年3月期	101,430	75,019	74.0	989.18

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 76,240百万円 2020年3月期 75,019百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

詳細は、本日 (2020年7月31日) 公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	94,800	7.8	9,200	13.5	9,200	13.1	6,250	14.4	82.41
通期	192,800	6.2	18,500	5.1	18,500	4.6	12,700	5.2	167.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

詳細は、本日 (2020年7月31日) 公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、[添付資料] P. 6 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	75,840,000株	2020年3月期	75,840,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	314株	2020年3月期	314株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	75,839,686株	2020年3月期1Q	75,839,686株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
3. 補足情報 .....	7
(1) 仕入及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、国内外で新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるもとで、きわめて厳しい状態にあります。先行きにつきましては、経済活動が再開していくもとで、徐々に改善していくことが期待されますが、感染症の動向によっては予断を許さない状況が続くものと考えられます。

小売業界におきましては、4月の緊急事態宣言に伴う営業自粛の影響および5月の宣言解除以降のペントアップ需要(抑制されていた需要)の顕在化と、消費者の行動変容に伴う需要変化が混在しており、今後の状況推移に細心の注意を払う必要があると考えております。

このような状況のなか当社は、「新たな日常への対応力を強化する」をテーマとして、①顧客層拡大を狙いとした商品開発のための体制強化策として、4月、大阪市に情報収集を目的としたサテライトオフィスを開設、②複数出店案件が見込める企業との関係強化および未出店地域の重点開拓、③システムを活用した社内全体の効率化追求に取り組み、セルフレジにつきましては、6月末において56店舗に導入し、検証を進めております。

出退店につきましては、採算性を精査しつつ前向きに進めた結果、当第1四半期累計期間において、出店が直営店32店舗、退店が直営店9店舗とほぼ計画どおりに進捗し、当四半期末の店舗数は、直営店1,656店、F C店46店の合計1,702店となりました。

直営既存店売上高につきましては、緊急事態宣言の発令により営業自粛した大型商業施設内等の休業店舗数が4月末において226店舗となった影響で、4月は前年同月比97.3%となりましたが、スーパーマーケット併設店舗など営業が継続できた店舗の売上が順調に推移したこと、5月に緊急事態宣言が解除され、休業店舗が想定より早く営業再開できたことにより、当第1四半期累計期間においては前年同期比105.0%となり、見込みを上回る進捗となりました。

主要経営指標につきましては、売上原価率は、利益率が相対的に低いF C売上高、菓子食品等の売上高の伸び率が高かったため、57.0%と前年同期比0.2ポイント上昇しました。一方、販売費及び一般管理費については、緊急事態宣言下で出勤する従業員に報いるための手当加算が4億円ありましたが、5月以降の既存店売上高が前年同期を上回ったこと、休業店舗の賃料減免および水道光熱費の減少などにより、売上高に対する比率が1.5ポイント低下したため、当第1四半期累計期間の売上高営業利益率は10.4%(前年同期9.1%)となりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は486億42百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は50億78百万円(前年同期比28.2%増)、経常利益は51億29百万円(前年同期比28.8%増)、四半期純利益は34億86百万円(前年同期比30.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前期末比3億47百万円増加し、1,017億77百万円となりました。流動資産は、預け金が減少したことなどにより3億86百万円減少しました。固定資産は、新規出店や既存店のリニューアルに伴い有形固定資産が増加したことなどにより7億33百万円増加しました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前期末比8億74百万円減少し、255億36百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が減少したことなどにより11億65百万円減少しました。固定負債は、資産除去債務が増加したことなどにより2億91百万円増加しました。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前期末比12億21百万円増加し、762億40百万円となり、自己資本比率は前期末から0.9ポイント上昇し74.9%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の実績及び足元の状況を鑑み、2020年5月11日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2020年7月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,288	43,739
売掛金	301	337
商品及び製品	16,376	17,412
前払費用	872	882
預け金	8,676	5,655
その他	172	274
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	68,685	68,298
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,450	15,995
その他(純額)	3,705	3,762
有形固定資産合計	19,155	19,758
無形固定資産	95	90
投資その他の資産		
敷金及び保証金	11,229	11,354
その他	2,338	2,339
貸倒引当金	△74	△63
投資その他の資産合計	13,494	13,630
固定資産合計	32,745	33,479
資産合計	101,430	101,777
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,931	10,434
未払費用	2,980	3,692
未払法人税等	3,281	1,829
賞与引当金	695	327
資産除去債務	28	28
店舗閉鎖損失引当金	1	—
その他	3,725	3,167
流動負債合計	20,644	19,479
固定負債		
退職給付引当金	349	353
役員退職慰労引当金	298	298
資産除去債務	3,588	3,858
その他	1,530	1,548
固定負債合計	5,766	6,057
負債合計	26,411	25,536

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,278	1,278
資本剰余金	1,419	1,419
利益剰余金	72,349	73,560
自己株式	△0	△0
株主資本合計	75,046	76,258
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△27	△17
評価・換算差額等合計	△27	△17
純資産合計	75,019	76,240
負債純資産合計	101,430	101,777

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	43,781	48,642
売上原価	24,870	27,710
売上総利益	18,911	20,932
販売費及び一般管理費	14,948	15,853
営業利益	3,962	5,078
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	1
受取家賃	5	5
受取補償金	13	27
保険解約返戻金	—	8
その他	7	10
営業外収益合計	29	55
営業外費用		
支払利息	3	3
固定資産除却損	4	0
その他	1	1
営業外費用合計	9	5
経常利益	3,982	5,129
特別損失		
減損損失	32	13
特別損失合計	32	13
税引前四半期純利益	3,949	5,115
法人税等	1,276	1,629
四半期純利益	2,672	3,486

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 仕入及び販売の状況

##### ① 仕入実績

当第1四半期累計期間における仕入実績を商品区分別に示すと、次のとおりであります。

商品区分	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
雑貨	28,062	110.9
菓子食品	663	123.7
その他	20	—
合計	28,746	111.3

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. その他には、消耗品費への振替高等が含まれており、前期間はマイナスとなりました。

##### ② 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を商品区分別、事業部門別及び地域別に示すと、次のとおりであります。

##### a. 商品区分別売上高

商品区分	売上高(百万円)	前年同期比(%)
雑貨	47,738	110.9
菓子食品	889	123.5
その他	14	83.8
合計	48,642	111.1

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. その他には、店舗に設置した自動販売機等の手数料収入等が含まれております。

##### b. 事業部門別売上高

事業部門	売上高(百万円)	前年同期比(%)
直営売上高	47,772	110.9
F C売上高	647	120.3
卸売等売上高	55	101.6
海外売上高	167	164.3
合計	48,642	111.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

c. 地域別売上高  
(直営売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	当第1四半期会計期間末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	5,862	115.3	206	6	0
関東甲信越地方	15,585	108.2	512	11	3
東海北陸地方	9,582	112.0	361	7	2
関西地方	8,051	106.8	259	0	1
中国四国地方	3,686	116.4	137	3	0
九州沖縄地方	5,003	115.5	181	5	3
合計	47,772	110.9	1,656	32	9

(FC売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	当第1四半期会計期間末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	125	129.8	9	0	0
関東甲信越地方	28	128.8	6	0	0
東海北陸地方	69	107.4	7	0	0
関西地方	12	121.3	3	0	0
中国四国地方	27	127.1	4	0	0
九州沖縄地方	385	119.0	17	0	0
合計	647	120.3	46	0	0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別の区分は次のとおりであります。

北海道東北地方……………北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越地方……………茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸地方……………富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

関西地方……………滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国四国地方……………鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州沖縄地方……………福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県